■大阪クラシックの源流■

貴志康一の歌曲とヴァイオリン曲を聴こう！

１９２６年、ラジオ放送用に結成された大阪フィルハーモニック・オーケストラには朝比奈隆、服部良一、貴志康一も加わっていました。貴志康一はドイツへ留学、フルトヴェングラーに指揮法を学びベルリンフィルを指揮するなど指揮者、作曲家、ヴァイオリニストとして活躍、しかし28歳の若さで夭折してしまったのです。貴志の音楽は、わが国の伝統的な歌舞音曲を西洋の管弦楽技法（オーケストレーション）に昇華させたばかりか、ジャズや民族音楽を融合した近代クラシックの作曲技法に大きな影響を与えました。大阪、そして日本を世界に示した貴志康一の作品、ここでは歌曲とヴァイオリン曲をじっくりとお聴きください。

11月16日（土）午後４時３０分　開演

会場：まつむし音楽堂

（阪堺電車上町線「松虫」下車すぐ）

入場料　1500円

[出演]

樽井優子（ソプラノ）／　**井前慶子**（ヴァイオリン）
井前典子（ピアノ）

[歌曲]

天の原	貴志康一　作詞・作曲
かごかき	貴志康一　作詞・作曲
◇	
花売娘	貴志康一　作詞・作曲
赤いかんざし	貴志康一　作詞・作曲

[ヴァイオリン曲]

月	貴志康一　作曲
水夫の唄	貴志康一　作曲
◇	
竹取物語	貴志康一　作曲
花見	貴志康一　作曲

＊＊

Kishi Koichi（1909―1937）指揮者、作曲家、ヴァイオリニスト。大阪・網島（都島区）に生まれる。母の旧師、大橋純二郎氏に師事して音楽家としての第一歩を踏み出した。17歳のとき甲南高校を中退してジュネーブの国立音楽学校に入学。1928年同校を首席で卒業。その後、指揮と作曲を志しフルトヴェングラーに学んだ。渡欧中には自作の歌曲集やヴァイオリン小品集ほかベルリンフィルを指揮したレコードも発売された。1935年26歳で帰国、指揮者として華々しく登場、絶賛を博したが、2年後盲腸炎をこじらせ腹膜炎を併発、28歳の若さで急逝した。

「貴志康一の歌曲とヴァイオリン曲を聴こう」参加申込書

まつむし音楽堂
FAX ０６－６６２４－０５５９

おなまえ：

おところ：〒

お電話：

お申し込み枚数：　　枚

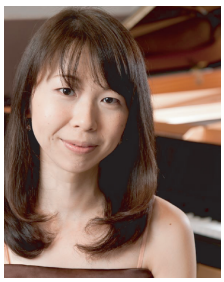
※お申込書が到着しだい、まつむし音楽堂よりチケットと振替用紙を郵送させていただきます。
なお、定員に達ししだい締め切らせていただきます。早目にお申込みください。
お電話でのお申し込み、お問い合わせは、まつむし音楽堂 TEL 06-6624-0559 まで。

◆

–出演者のプロフィール

樽井優子　Tarui Yuko
ソプラノ歌手。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。同大学院歌曲研究室修了。
第12回日本クラシック音楽コンクール全国大会に入選。
第19回香川音楽コンクール日本歌曲の部で第3位入賞。
関西歌曲研究会、インターナショナル・フリードリヒ・クーラウ協会会員。

井前慶子　Imae Keiko
ヴァイオリニスト。大阪音楽大学、同大学院修了。Fuji TV KBKより学費免除の奨学制度を受け、パリ・エコールノルマル音楽院にて学ぶ。高等ディプロマ取得。
奨学生としてアスペン音楽祭(米)、カリアリ音楽祭(伊)、ボルドー音楽祭等、国内外のマスタークラスにて研鑽を積む。第44回なにわ芸術祭（新進音楽家競演会）、2007年京都国際学生音楽フェスティバル、第15回 Masters’Concert（ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団/小田野宏之氏とショスタコービッチ『ヴァイオリン協奏曲１番』を共演）、JTアートホール「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」、留学中はドイツ、フランス、チェコでの演奏会にアンサンブル、ソロで多数出演。また東日本大震災チャリティーコンサートで指揮者、大植英次氏と中国地方、関西各地で多数の演奏会を行う。
現在、大阪音楽大学演奏員。



井前典子　Imae Noriko
ピアニスト。大阪音楽大学を最優秀賞にて首席卒業。在学中は選抜による特殊研究クラスに在籍。
2006年、同大学院を修了（『メシアンにおける宗教性の探求』で音楽修士号取得）
2007年よりロームミュージックファンデーションの在外研修生としてミュンヘンおよびパリに留学。
イタリア、スペイン、ドイツ、ウィーン、プラハなどで演奏活動を展開、2010年には世界遺産プラハ城でリサイタルを開催、またプラハフィルハーモニーとベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番をCD録音した。
第14回ABC新人コンサートでグランプリに選ばれ、大阪フィルハーモニー交響楽団/現田茂夫指揮と共演。
KOBE国際学生音楽コンクール優秀賞および神戸市教育委員会賞、フッペル祈念鳥栖ピアノコンクール第3位、Ricetto in Musica 国際音楽コンクール（イタリア）ディプロマ賞、Perrenoud Foundation国際音楽コンクール（ウィーン）特別賞など内外で受賞多数。　『阪急クラシック～東日本大震災チャリティコンサート』では世界的な指揮者、大植英次氏とピアノ連弾で共演、好評を博した。